



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク氏

第2600地区ガバナー 成田 守夫

国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

Rokumonsen Rotary Club

【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REI ホテル 3F

TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30～13:30 《例会場》上田東急REI ホテル 2F 《創立》1997年2月18日

●会長 中澤 信敏

●幹事 吉田 穰

●会報委員長 合原 亮一

●副委員長 齋藤 仁

●委員 宮原 宏一／湯原 剛

委員会卓話 広報情報委員会



会長挨拶



ロータリーの魅力

広報・情報委員長 横沢 正君



お手元の資料は関パストガバナーが作られ配布された「MY MOTIVATION」という冊子を見て面白いと思い、今日紹介しようと思いました。ロータリーに対する思いを深めるための資料として作られたそうです。

まずロータリーの魅力についてのアンケート結果ですが、まさしく人と人が会うことが楽しみになっていることがわかります。世界の仲間とつながることについては、わが会員にも身近に感じている人もいでしょう。昔ドバイに行った時に、ドバイロータリーで会食できたらと想像したことや、東京のロータリーに中国に連れて行ってもらったことがあります。ソウルのロータリーでは英語で例会をやっているという話も聞きました。

世界的問題の解決に参加できる魅力。シトラスリボン運動も身近なことです。世界的な問題の解決に貢献していると感じました。

著名なロータリアンや富豪。小説家の筒井康隆が神戸ロータリーに所属しているという話には、そうなんだーと思いました。世界にはそうそうたるメンバーがいて、同じ土俵に並べない人と、会員として同じ土俵に並ばせてもらっているんだなあ。

世代によるロータリー観の違い。わがクラブでも一番多いブーマー世代は楽観的ながら職業倫理的には駆り立てられる。ロータリーがすごいと思うのは、4つの世代が一緒に話せる、対等に話せる場という点です。

若年層団体の会員数は、私もいたJCは今1993年のピークの半分です。昔はJC終わったらロータリーだよね、という話もありましたが、母数が半分になっているわけですから、会員増強も大変です。

シトラスリボン運動について

中澤 信敏君



今日のお話は、先週末に社会奉仕委員会で行いました、シトラスリボン啓発運動に参加した感想についてお話をさせていただきます。

シトラスリボン啓発運動は、斉藤恵理子委員長を中心に今年度当クラブも関わる事業として何度か実施してきました。皆さんにもご周知しておりましたが、先週の例会日には斉藤委員長と宮澤副委員長とで神科小学校6年生の授業で、12日の土曜日には地元の高校生に対して、シトラスリボン啓発活動を実施しております。私は、12日の土曜日に参加させていただきました。

今回の奉仕事業ですが、斉藤さんが活動しているNPO 法人まごの手の事業に当クラブも協力させていただいている形なのですが、参加して非常に素晴らしい活動だと思いました。今年度はロータリー財団の地区補助金を活用せずクラブ独自の奉仕事業として実施しております。

コロナの影響で皆さんにも奉仕活動への参加をお願いして良いのか。逆にお越しいただきすぎても密になってしまうため、声はあまりかけていないのが実情です。当クラブの事業の一環として斉藤さんが中心として活躍されているこの事業のことを、外から耳に入ることもあると思われるため、一部のメンバーだけで実施している他人事にならないよう、ご周知をさせていただきます。

このシトラスリボン活動の主旨は「コロナ感染者への誹謗中傷を止めましょう」をリボンに表した活動ですが、今回私が参加した高校生に対しての周知活動についてお話しします。上田市社会福祉協議会が主催で地元の高校生に対してボランティアの接点を持つことが趣旨だと思うのですが、東高校と西高校のボランティア活動をしている生徒多分1～2年生の10名が参加してくれました。1時間30分のブ





プログラムで、コロナでしたが、非常に円滑に進められ、大人たちも考えさせられる内容がたくさん含まれていました。その中で、斉藤さんから生徒たちに 2 つの質問が投げかけられました。これは、実際に起こり得る身近な厳しい現実に対して自分で考えていることを書き出し発表しあう内容でした。学校でもそれぞれが思っていることや考えていることに対して声を出す機会は今までなかったそうです。

メモを取っていませんでしたので正確ではありませんが、子どもたちの言葉をご紹介します。

まずは「コロナが流行って自分が困ったことは何だろう？」の回答です。

「新年度始まってすぐに休校だったため、クラス替えをしてもクラスの人と会えなかった」「友達と気軽に遊べない」「部活の時間が減った」「学校行事の短縮や中止」「普通にできていたことができなくなって辛い」「行動の制限があって辛い」「自分が差別されたら嫌だ」「咳をするのにも気を使う」「マスクの仕方に注意が必要」「バス通学が怖い」「休校が長かったので、勉強のペースが速くて大変」「音楽の授業で歌が歌えなくなった」。

次に、コロナに感染し誹謗中傷が現実的に発生している実情を紹介した上で「自分の身近な友達などがコロナに感染してしまったら自分ならどうする？」の回答です。

「いつもと変わらない態度で接したい」「人の気持ちを考える」「うわさをうのみにしないで普通に接する」「やさしい言葉をかけてあげたい」「正しい言葉がけで支えてあげる」「自分がその人に寄り添ってあげる」「うわさに流されず、自分の意思で接する」「シトラスリボンを広めたい」などでした。彼ら彼女らの気持ちの中に生きづらい世の中のシワ寄せを受けてしまっている実態と、それでも向かい合ってちゃんと関わろうとする気持ちがあることに感動しました。シトラスリボンの啓発活動は、気持ちが荒んでしまうような時期で、正しい方向が何なのかもわかりづらい中、現実に向かい合って前を向くために非常に良い取り組みだと実感しました。

宮澤広一君 いよいよ冬らしくなってきました。

笠原 一洋君	柄澤 堯君	小嶋 修一君
松澤 一志君	宮原 宏一君	水野 泰雄君
中澤 信敏君	西澤 尚夫君	西澤 文登君
生川 秀樹君	杉山 裕君	田中 栄一君
山崎 芳雄君	吉田 穰君	清水 一典君
合原 亮一君	齊藤 仁君	齊藤恵理子君

ニコニコ BOX 喜投額 12/15 例会 23,000 円
今年度累計 402,002 円 目標達成率 44.67%

例会 日誌



□司 会 杉山 裕君
□開会点鐘 中澤 信敏君
□R ソング 「上田六文銭 RC の歌」 テープ
□ラッキー賞 提供者 西澤尚夫君
宮崎フェニックス C.C. キャップ
宮澤 広一君



□委員会報告
プログラム委員長 柄澤 堯君
『12・2 月プログラム変更について』



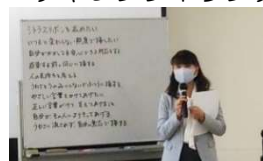
シトラスリボン運動 活動報告



12 月 8 日(火) 神科小学校 6 年 1 組ワークショップ



12 月 12 日(土) 会場・上田市社会福祉協議会
チャレンジボランティア 高校生対象



幹事報告



吉田 穰君

- ロータリーの友事務所より
・2019-20 年度 事業報告
- AMU より
・新型コロナウイルス感染症長野県からのお知らせ
- 社)バギオ基金より
・2019 年度事業報告書
- 理事会より
・12 月 8 日理事会議事録

出席・ニコニコ BOX 報告



齊藤 仁君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	24	3	0	87.50%
前々回	25	5	2	88.00%

1 月 19 日 例会 予定



12 月 29 日・1 月 5 日・12 日は休会です。

1 月 19 日 慶祝・ロータリーの友紹介
会員卓話 宮澤 広一君

